物産雑説

（乙二三七）蔬菜類

九

A 00
5764

蔬菜 乙二三七

東京大学総合図書館

八人枕上ニ
八良之評

No. 10

シロキウリ

熱海滞留中 小松鉄吉氏ノ 二度蒔ノ 白胡瓜ナリトテ 五
寸位ノ物四五ヲ送ラレ 之ヲ食スルニ 風味甚宜シ 直諸方ノ聞クニ是
三島ノ方ヨリ種ヲ得テ作レル 並ノ品ヨリ 青臭クナク 肉厚
ク形大ク 種ノスクナク 風味宜シト云ヘリ 尚 此物ハ小ナルノ二個ヲ
贈ラレ 之ヲ農会小集会ニ出シ 人々ニ示シニ 後藤逸三君
東京ニテハ 無キ物ナリト 谷本氏曰 白胡瓜ハ 既ニ無之
用ユヘキ者ナシト 池田氏曰 此頃ノ 八人枕ト称スル
モノハ 東京ノ白瓜ト 異ニシテ 此果ニ近シ 或ハ同物カ
青枝瓜ニアリトモ云ヘリ 一 持重之ノ 保存感 一ツ 林以偏氏

A00
5764

東京帝國大學圖書

B 45224

男爵田中義廉氏寄贈
先代田中芳男男爵旧蔵書
昭和七年

東京大学総合図書館

一ノ斤山畫ノ良ク分ツ 又孩子ノ世界ト書ト交ハトイフ
苦ノ実結ハ甚ハ食ラズ
谷本曰 瓜ノ苦ミ困ハ又人ハ 採リテ 其苦ヲ互ニ摩
合スレハ泡立ツ之ヲ洗ヒ去レハ 苦味去ル可ナリ云

廿年十二月十四日

田井記

大冬瓜

量五貫五百匁

廿一年十月中旬関母君ヨリ贈ラル 如何ニモ巨
大ナルハ従来見タル所ノ者ニ非ズ 又之レハ
大塚ノ人 華族佐藤守郎ナル者 南高橋郎
西一ノ江 農 萩島定右衛門ヨリ出スト云フ
外国 畑ニ出来白瓜ヲ植ヘタリシニ 蕃語某ナル種ニ入ル
十月ノ農産品評会ヘ出シ 賞与ヲ得 十月二十
日ス 内池重ノ数ノ数多 給連ニ食スル 雪ノ如ク霜ノ如ク
鮮ヘ美ナリ 搾汁ハ六行ニテ良ノ内臓ヘ 数多一行多リ
三百五斗アレハ 六行分ナリ 五百匁ナル位ナリ
味良好 淡泊

更ニ書画ノ挙テ醍醐味ヲ覚ユヿ也

廿年十二月九日　田芳記

其風采モ亦沙漠ノ異ナレリ

ニ内臓ヲ去ルノナク其儘漬テ色ハ形状ハ勿論

冬化苗

南葛飾郡

西一ノ江農

花篤左右衛門

大塚郎ニて作り人

小使

山口松治

[illegible]

風しこ作り人

大塚

[illegible]孫伊達

十九

ひく〱大物に成ける

留上竹[illegible]命[illegible]

けり無[illegible] 金貸人

四中大金

[illegible]作り人

篤足右衛門

[illegible]松浩

田中

安

あ無佐無風し作人

無手し西山土れし

郵トアン[illegible]

大塚

妻孫伊達

きし郎十九

四中ムんも

十月十五日

重賢

四中荒男扇

伊丹重賢

ヲ常トスルニ 此品ハ 細キ乱條凸起シテ網ヲ張ルカ如ク

大銀冬风（燕葉ヲ切リ印刷セシ文ナルモノニ比スルハ殿若ラ）

明治二十年十二月 農産品評會ニ出品スル[illegible]葉ヲ

埼玉縣下 武蔵入間郡 三ケ島村 中島發民ノ作ル所

ナリ

此烟草ハ近年各地ニテ作ル所ニシテ西洋種ヲ轉化シ

タルモノナラン 且形ハ従来作ル所ノ全冬风ニ似タルヲ以テ

銀冬风ト云フ 且大サハ従ニ二三倍スルモノナレトモ出品ハ

殊ニ偉大ナルヲ以テ 而シテ彼ト同ク南风ノ属ニシテ冬风

ノ属ニ非ス 外皮ハ淡黄赤色ニ白粉ヲ被リ潤澤ナル

ヲ常トスレド出品ハ細キ乱條凸起シテ綱ヲ張ルガ如キハ

ヲ醸シ之ヲ切レハ外皮ハ堅クシテ柿ナ南瓜ヲ切ルカ如シ
キハ厚サ九分モ有之 内部ハ西瓜ノ如ク黄色ニシテ 全体ニ水アリテ
色濃ナル方アリ 胎座四列アリテ 内面ニ着キ 種子ハ三百
辛壮 葉ハ三寸八分 蔕アリ 瓢ハ種子ヲ包ミテ
ナシ 中心ハ空胴ナリ 蔕ハ南瓜ヨリ軽ナリ 其座ハ
南瓜ニ同シクシテ 香気甚シ 老農ハ人ニ淡泊ナル 殺甘
柿ナリ 南瓜ニ似タリ 且ツ瘠タル所ナク 軟脆ニシテ 食料ト成ル
除キ 田土ニ 又 耐湿 良シ 又 栄養 ナルモ 那米
アリ 下物ニ置シ

明治三年[redacted]一月 田中芳男記

大銀

[illegible]

大

大金冬瓜

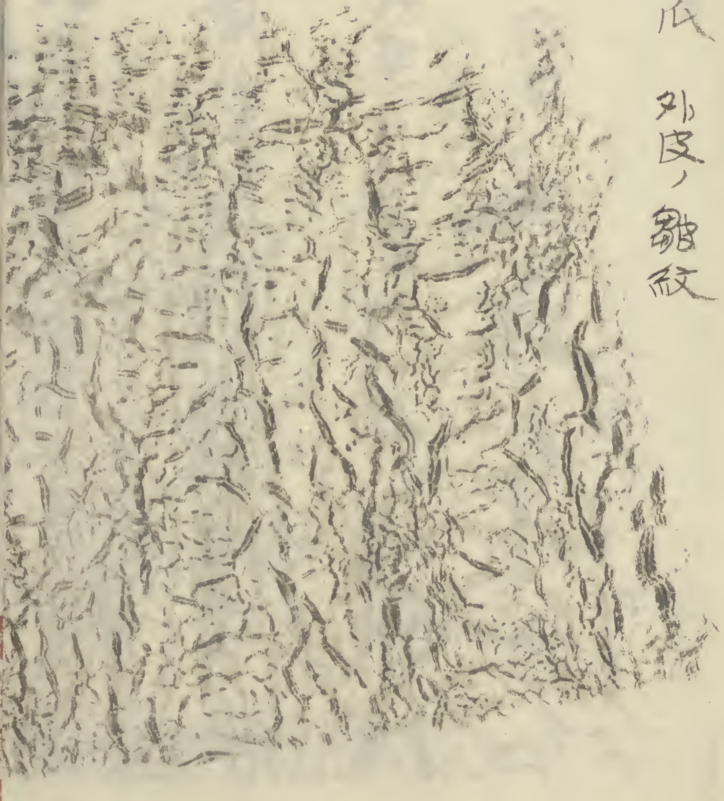
賣價金四拾弐

三百六十三匁

冬瓜

三〆八百目

大銀冬瓜　外皮ノ皺紋



此銀冬瓜ノ事ハ農學雑誌ニ見エタル
者今ハ海泊ニ内類又魚肉ノ脂多キ
等ト共ニ煮ヘし　漬物ニシテ宜シ又三
杯酢ニモ適ス　味ニ酢ニ入レタルハ一層
ノ雅味アルモノナリ

銀冬瓜　三尺三寸三分
三〆八百五十目

一 薊葉

生路邊池沼野ニ好ム高サ八尺

日ヲ逐テ長シ一ノ上ノ氏ハ鋸齒

塊莖ナリ三種ノ葉ノ如キ者ハ

其葉生ニ一ハ薊ノ如ク二ハアザミ、如ク

銀千瓦一斤ニ当ル焼付ニ成ル事

生臙脂ハ池田野子ニ相ノ為ハ有

日月迄ニ壹個ヲ上ノ方ハ 出ス

仰蔵候 三種ノ蘇ノ也 ...

本吟味上ハ 善瓜 出三ハアラズ 也

三分金弐朱ト銀九匁九厘 為替保平
此度何分宜敷頼 此事候
一此趣委細御承知下(?)一の事ニ付
頼候、米子三人様向ト
運丸宛也 返事一向無之、甚
恐入候 [illegible] 一書不足候
月 初六日
廿二日
平林[illegible]
田中 様

播種

三月播ス

肥料

移植

モノ

移植

施シ

生長

猶西瓜ノ外都テ種

紫蘇蘿蔔ノ如キ油菜ノ類ハ種子ヲ

取ル目的ニテ栽ル地ヲ撰ミ

栽植シテ而シテ種子ヲ採ル

一株ニ出来タル實ハ少キモ翌年

中ニ蒔ケハ發芽延引

何レモ中澤某ノ誤附

候

尚又再ニ西瓜ノ南瓜

其四周ニ溝ヲ作リ食「アコダウリ」ト

ニ就テハ（未タ確証ナシ）生食スルニ美味

深沼ニ生セルモノ三種アリ何レモ食

スルニ耐ヘ種ノ多量ニカヘ二日

四ツナシ

解セシ

肥料ヲ

移植後日数十四五日許ヲ經過シテ丈ケ壹尺許ニ生長ス

二三寸

ス

ニシテ尽
ス

間浸シ置ケハ全ク淡泊ニシテ
瓜ノ香氣ヲ失ヒ糀ノ香ヲ
著シ至極ノ奇品ナリ　金
色瓜モ粕ニ合味ナリ　銀
瓜ハ甘キ味ナルニ「アコダウリ」ヨリ
稍ナ硬ク淡泊ノ上自然ノ
糀ノ香ヲ著ハシテ少シク
砂糖ヲ撒シ三杯漬トナシ
又二日間浸シ置ケハ其品ハ上等
切形モ良ク瓜ノ香氣モ
前種ヨリ多ク甘味モ有リ
最モ美味ナルモノナリ

播種
三月
播ス
肥料
移植
モノ
移植
施シ
西ヲナシ
許セシ
肥料ヲ

生長ノ状
移植後日數十四五日許ヲ經過シテ丈ケ壹尺許ニ生長ス

東京大学総合図書館

同得シ置候得共済治ニシテ
而延引申上候也
九年
一月七日 編輯寮
御中
田中傳

ニシテ尽
ス

銀子瓜

播種
三月廿一日普通ノ苗床ニ南瓜抔ト共ニ一区劃ヲナシ播ス

肥料
移植ニ先ツ凡二尺許深サ穴ヲ掘リ之ニ雑糞ノ泥解セシモノ一穴ニ五六合許リ入レ土ヲ覆ヒ置キ

移植
後苗漸次生長シテ四葉ヲ呈出セシヲ度トシ豫テ肥料ヲ施シ置シ穴ノ側ニ一茎ヲ移シ植ウ

生長ノ度
移植後日数十四五日許ヲ経過シテ丈ケ壱尺許ニ生長ス

是ノ時枝梢ヲ分タシメシカ為ニ心ヲ摘ミ置キ夫ヨリ後四梗
ナラス其四尺許ニハ五六尺許ニ生長セシムル様コトニ至ニ顆ヲ結ニ
シモ氣候ノ為順ナル又ハ地上ニ蔓延セシムルカ為メ又本性ハ
瓞ヲ腐敗ニ属ス是ニ於テ其方法ヲ轉シ更ニ棚ヲ架シ之レニ
蔓延セシム其延長シテ凡四尺ノ高クハ三間ノ上ニ至ラシテ又結
実ス之レ其一ナリ而シテ其蔓延殊ニ甚タシ特ニ棚ノ上ニ
ナラス樹木ヲ延纏シテ最モ長キハ七八間許ニ至ル其結実
スル顆数亦随テ多シ一茎四顆ヲ採ル顆ハ六七ニ至ル然ル後各
種ニ一顆ヲ遺シテ餘ハ皆熟セシメスシテ採收ス

金冬瓜

肥料其他ノ方法総テ銀冬瓜ト異ナルコトナシ然レトモ生長
ノ度ハ前種ニ比スレハ総テ虚弱ノ性ナラス顆数亦五六ナリ
一茎一顆ヲ結実スルノミ

當課所蔵ノ字帝華香茶烏戯珍玩百ハ
續ノ新ノハ國ヨリ其稀ニ又所記アリ此書ハ
本ヨリハ全備セルモノナリ

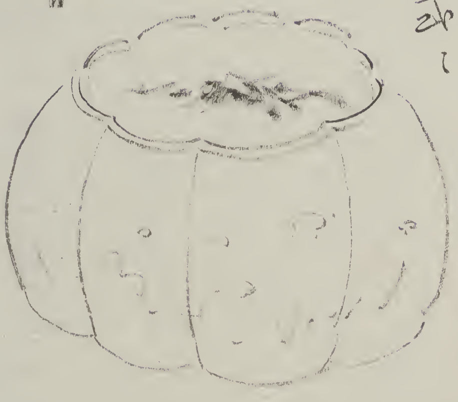
左ノ問題
……撰定
……ノ子粒大
……ク昨年
……迦採取
ノ朝ヨリ三四日前ニ摘採リ能ク乾燥シ連枷ヲ用ヒス
（連枷ヲ以テカチタル種ハ黒キ穂ノ多ク出ルヲ以テナリ又上
ノ辻村田中新五郎ノ実験シタルニ麦種ノ欽クルヲ
蒔ケハ黒穂出ツルト云）手ニテ揉落シタルヲ良種トスル
ニ確定セリ

多識會ニ交径ノ控

アコダウリ　紅南瓜

阿古陀ノ名ハ殿中申次記ニ出ルヿ古名録ニ引証セリ此書ハ永正年間ノ記録ニテ武家ノ年中行事ヲ記シタルモノ、由而シテ永正ハ今ヲ去ルヿ三百八十四年前ナリ天和年中著ノ武具訓蒙図彙ニハ西瓜（アコダ）形ノ甲トアリ天和ハ今ヲ去ルヿ二百零五年ナリ又宝永年間貝原翁著大和本草ニ南瓜ヲ「アコダ」ト訓スルハ誤ナリトアリ廣大和本草ニハ陰瓜ニ充ツ松岡玄達著怡顔齋食品考ノ図ハ今ノ「キントウグハ」ナレ氏圓形ナルヿハ分明ナリ本草啓蒙ニアコダウリヲ紅南瓜トスルノ説アリテ別ニ「キントウグハ」ノヿヲ載ス成形図説ニ南瓜（アコダウリ）アリテ図ヲ載セタリ

アコダ香爐ノ図
焼香ノ式ニ用ユル
焼火ノ爐ナリ



焼香ハ聖徳時代ニ専ラ行ハレ近時ニ至ル

明治十一年十月廿日
於元々堂図
竹田久成

其説ニ曰ク阿古太瓜ハ本邦産ニテアリシヲ後ニ南瓜（カボチヤ）ノ渡リシ後ハ
此モノモ混ニテ西州ニテハ「ボウブラ」ト呼ビテ南瓜ヲ「カボチヤ」ト称セリト然
ルニ大ニシテ円ク味ノ菲（ウスキ）ヲ南瓜（ボウブラ）トシ小ク頚アリ味ノ腴（アツキ）ヲ番南瓜（カボチヤ）ト云フ云ニ
野必大ノ食鑑西瓜部ニ阿古太瓜云々アリ南瓜（ボウブラ）ハ慶長元和ノ頃ニ渡リ
西瓜ハ寛永年中ニ渡ルト云ニアリ　田芳案ニ往時アコダウリアリテ円形
楓（丹）色ナレバ紅南瓜ニ充ツ　水谷助六ノ物品識名ハ啓蒙ニ従ヒタリ然
ルニ東國ニハ詳ナラヌト見ヘ岩崎灌園ハ唯啓蒙ノ説ヲ引クノミニテ
図ナシ　京都ニアリトノコト大和本草ニモ載セタレバ西京山本氏ニ依頼ス
ルニ「ギントウグハ」ノ外ナシ　然ル所近頃東國ニ再ヒ之ヲ見ルニヨリ一言ス

明治廿一年十月十四日夜　田中芳男記

其説ニ曰ク番南大瓜ハ本[illegible]ヲ後ニ南瓜ヨリ渡リシ後ハ
此モノモ[illegible]西州[illegible]「ボウブラ」ト呼ビテ南瓜ヲ「カボチャ」ト称スト然
ルニ大ニシテ円ク味ノ華ヲ南瓜トシ小ク頭アリ味ノ腴ヲ番南瓜ト云フニ
野必大ノ本朝食鑑ニ阿蘭太瓜ト云ヒアリ南瓜ハ慶長元和ノ頃ニ渡リ
西瓜ハ寛永年中渡ルト云ニアリ 田芳男ニ[illegible]時アコダウリアリテ円形
楓色ナレバ紅南瓜ニ充ツ 水谷助六ノ物品識名ハ啓蒙ニ従ヒ然
ルニ東國ニハ詳ナラズト見ヘ岩崎灌園ハ唯啓蒙ノ説ヲ[illegible]テ
図ナシ 京都ニ[illegible]大和本草ニ載セタルハ西京山本氏ノ[illegible]類ス
ルニ「ギントウグワ」[illegible]然ル所近頃東國ニ専ヒ之ヲ見ルニ至リ[illegible]云フ
明治廿一年十月[illegible]夜 田中芳男記

アコダウリ 追加

近頃市上ニ出現スルハ何地ヨリ傳ヘシヤラ知ラズ又洋種土尓其
帽ト称スル種ノ変化モ亦稍似タレモ本年榎本大臣ノ手ニ来ル
清國種子ノ内ニ番瓜ト云アリ是ヨリ生シモノ即真ノ「アコダ
ウリ」ナリ

明治卅一年十月十六日 田中芳男又記

彦堂高橋君ヨリ余家ニ蔵スル「アコダ」形及諸々ハ何故ノ名タルヤ知ラザリシガ今此説ヲ見テ始テ了解スルニ

アコダウリ 菜蔬部ニ ボウブラ ノ泊有

大和本草 巻五 南瓜 巻外ニ 巻八 蔬類ニ 和アコダ瓜 カボチャ

曰「京都ノ㒵 南瓜ハ 似テ小ナリ 味不好 其蔓 長ク其葉 甚大

ニ似テ大ナリ 其花ノ如シ 南瓜ヲ アコダト訓スルハ 誤リ」

廣大和本草 巻三 蔬菜類 「陰瓜 和名 アコダ 一名 カボチャ

トモ云ナリ 南瓜ノ異種ナリ 本条ニ ミエタリ 婦人ハ食スベカラズ」

本草啓蒙 南瓜ノ条中 又一種 アコダウリ ハ形小ニシテ 二字扁

西国ニシテ ヒダナリ 皮色赤ニ 絲解モ 或 紅ノ字已ハ 紅南瓜ト

多ツクベシ 草木図説ニ 南瓜 紅皮 如丹 楓色 ト云ハ アコダウリ ナラ

北瓜 青皮如 瑠璃正黄色 ト云ハ ボウブラ ナラ 備前ニ 金冬瓜ト 呼ヒノアリ

目ナシ
県アリ今ノ金名瓜ナリ

形長ク甜瓜ノ如ク至テ肉薄色ナリ 俗云浴鵝ノ卵ト
本草圖譜 南瓜ノ條中 其一種 アコダウリ 云フ 形状扁円ニテ小ナリ
一種ハニトウハ 一名キンヤトウリハ 形状菊瓜ノ如クシテ黄円実ナク熟セサル
其子南瓜ノ如クニシテ長ク寒ク紅色美シ 之ニテ各瞼ニ黒ミ近テ合
之レハ味番南瓜ニ似テ甘味ナシ
怡顔齋蘭品 同アリ 今ノキントウグハナリ
同和名 アコダウリ 漢名 紅南瓜 金甘 中ノ種 気ヲ益ス
古名録 阿古陀（アコダ） 殿中申次記 南瓜ノ一種ナリ
集注 殿中申次記 五月十六日 阿古陀五顆 御所進上之 八幡田中
形状ハ大和本草ニ 本草綱目ノ趣ナシ

伊勢 乾瓢
度會郡宮川辺ニテ作
作スルハ皆地ニ這ハシテ
ハ之ノハ蔓ヲ切リテ
今乾瓢ヲ見ルニ長
至ル二寸程大カラ合
ニテ合イニナニ二分
方ニ向キストラヌ
宮川ノ川原ノ土上ニ乾シ又其地ハ蒙席ヲ敷キ乾ストモ
此製ニ方ハ長キ全形ノ儘 外皮ヲ剥キ 刀ヲ以テ上部ヨリ

本所区全助町
七十二番地
田中芳男様
深川
玉川先生

郵便往復はかき
返信用
此表面ニハ宿所姓名を限り認むへし
大日本帝國政府大藏省印刷局製造

同上

同シノ今ノ[illegible]

形長ク鉗爪ノ如ク[illegible]ナリ 俗云[illegible]ト

李曽自隆 南瓜ノ俗呼 北瓜 アコダウリ 上云ヲ 形状同ニテ小ナリ

一名ヘコニトウナハ 一名キンコトウナハ 形状南瓜ト[illegible]

共多鉗爪ノ如ク[illegible]

又云ハ[illegible]

怡顔斎[illegible] 同[illegible]

同 和名 アコダウリ

古名録 アコダウリ 阿古[illegible]

集注 殿中申次記[illegible]

形状ハ大[illegible]

殿中申次記ノ返考

殿中申次記ハ永正年間ヲ記録ニテ候永正ハ後柏原天皇ノ時ニテ武家ハ義澄ヨリ義植ニ係リ候ヤ
此書武家ノ年中行事ヲ記シ候モノ也
十月十四日

伊勢 乾瓢

二十年六月十五日 長ク細ノ本国人[illegible]ヲ因テ[illegible]テ死スノ[illegible] 田芳

度会郡宮川辺ニテ多ク作ル所ノ長形ユウガホヲ以テ製ス 耕作スル者ハ皆地ニ這ハシテ棚ヲ作ラズ 長大ナルハ二尺余アリ 夜ニ之ヲ取

[illegible]ハ[illegible]ヲ切リ[illegible]テ[illegible]人ト云フ

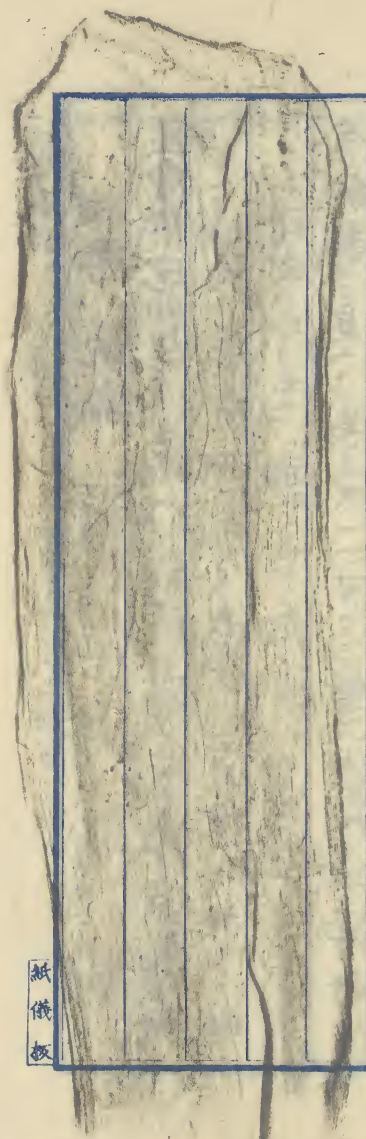
今乾瓢ヲ見ルニ 長二尺二三寸ニテ幅ハ五六分ヨリ二寸許ニ至ル 二手[illegible]大サヲ食ニ供ス 二ケ所ヲ藁ニテ結ブ 一把ノ量ハ二十名[illegible]二三十二[illegible]近アリ 故ニ量ヲ以テ販売ス 多ク上方ニ向テ[illegible]ト云フ

宮川ノ川原ノ石上ニ乾シ又其地ハ藁席ヲ敷キ乾スト云フ

此製ノ方ハ長キ全形ノ[illegible]外皮ヲ剥キ刀ヲ以テ上部ヨリ[illegible]

東京大学総合図書館

剥キ下シタモノヽ由故ニ扁圓長伸ノ形ヲナシ 杉本製ト
異ヘナリ尤モ杉本ノ製ハ丸ニ乎シテ製シ方モ亦異リノ西
シテ色ハ生宜ケレ圧厚簿アルト大サ一様ナラヌノハ不十分ノ点ナルヘシ
煮テ食スルニ甘美ナリ唯甚タ不均一ナリ 或ハ厚ヤ
アリ或ハ種子ノ出タルヲ着タハアリ 右ノ欠点ナリ



蔬菜ノ話

二十年三月下旬 [illegible]

杉本ノ葱ハ即チ岩槻ト同種 従テ方[illegible] 東京ニ来リ[illegible]
柳田村[illegible]ハ多クニシテ多クハ岩槻地方ヨリ作ル
品川カブラハ目黒地方ヨリ作ル 天王寺無ナリ
千住カブラ 是モ天王寺ヨリ尾長ニ
チヨ年ハ 越谷辺ヨリ作リ 徳ヨリ塩漬シ 東京ヘ来ル 漬物
ホメテ赤唐ト[illegible]故ニ生種ノ相ハ東京ヘ来ラ

谷中生姜 二月ヨリ

砂川ゴボウ 名物タルハ形モ十分ナラズ 香ト味ヨキナレド
種子トシテ他ヘ出ス物ハ宜敷ナシ

長瓠ハ信州地方ニ多シ

（かんぺう）フクヘヲカンペウフクヘトモ云フ　同書ニ鉢フクベ俗ニ八フクベト稱スト

栃木地方乾瓢ノ材料　都賀郡　最良　壬生ハ

乾瓢ノ本場　作リ方　近年　殿村ヲ

除キテ　作リ方　中熟ノ物　外皮ニ疵付

トキハ　宜敷ノ用ヲ

ナガフクベ即チ　手作　本　末

ヲ要シ　高價　熟シ白クナリ　水ニ浸シテ一周間　外皮ノ

ノ去ルヲ　種子ト瓢　夫ヨリ乾ス　是種子ヲ取ルヲ主ト

シ　瓢ヲ得ル　生産上

尚熟シ　種子　人好マスモノナリ

紙儀板

栃木縣下都賀郡ノ産

九萹蒲一八　カンペウ　鉢フクベ一名カンペウ

麻下集　椿井ノ産

長瓠（コウガンノ）一方言　長カンペウ　但シ此個ノ内　原（モトナリ）生ル一本

麻下ノ産

長瓠　但シ　ウラナリ

為合し　長丸菖蒲の
壱個宛合せ右壱ツ中へ
へうり入名　壱個宛　旅人
之個　語ニ　取れ之通
以為　其実　陪人ヨ　茶し
且剃書寸と　時ぞ辞
茶ハンガ為　其れ上て聞注註
つまりし　如　藤　語　被言
是ヲ　辯会ニ　旅ヲ　蔡毫
度　風　是ヲ　精良
量　其手此使の　此当　一　見
其書辞し　能通　其習

田中執事

来ルコアリとセ遠方故運搬ノ艱難多クシテ利分少ク勘定ノ力ヲ以テ
シテ封第アリトモ二銭ノ損ニ依ル居テ売ヘル之時呼寄ノ筆
カセ是レ段ノ甚シ甚之時ノ計ナラ赤ク上黄ナリ脚気ノ
薬トスル由ナリ又價ハ圓大ノ者隠岐ノ番大キサ三寸
遠信屋高低庶民外面雑色ノ附ク以テ緑色
描ハ枝葉ヲ甚タ醜ナル仕立ケタス色ヲ深甚ナ形ハ四種

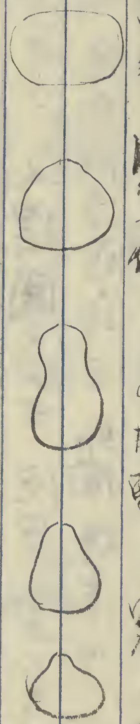
鮑

本邦ノ所出ハ鮑ト書シ字ナリ 本日唐鮑ト称ス 肉ヲ書居リテ
余カ向ニ著ス处ノ者ニ詳ス
鮑ハ名ガ 上ヲ白色ニテ常ナリ ヨリ 鮑本草ノ文 ニ方見ヘ文
未ダ一二アリトモ 遠方故運搬ノ便缺多クシテ 鮑等ガ加ノ
ニテ 鮑等多クアルモ 一ツノ様ニ 但唐ヘ 渡ルシ 時多ノ事
カナ 是ハ 味ノ 甚之 味ノ計 甚量上其甚ノ 脚気ノ
薬トスルヨシ 又 價ハ 鳳大ノ者 隠岐ノ番 六七ノ以上 千
者信 居低 唐鮑ト 外国 雑色ノ 附ノ 価
鮑ハ 殻ヲ 甚ニ 脚ニ 仕上ケノ色ハ 黒シ 形ハ 四 …

東京種物商舍
浅草菉住町
谷本清兵衛

弟子折表
下ニ於テ[illegible]
リ田田扁ノ
モト陸田トノ
二段ニ[illegible]陸田
ノ方晩[illegible]リ
トスヿ

アリ皆味美 [illegible]ノ[illegible]ノトこの乾瓢ヨリ異ナル形ハ



小ナルハ大ナルニ優ナルヿ 一回ナ五キヲ大ナルキ上アリ[illegible] 今

丸久瓢ノ圓形ノ[redacted]ノ[illegible]乾ニテア [illegible]ナキ[illegible]類ハ[illegible]

名ナキ優ナリ

金田白倉[illegible]ノ品ハ皆長シ 乾キ之殻内ハ乾キ之 柳ヲ入レ吊リテ

[illegible]之ニ用ユトヿ 方言[illegible] 専ラ乾瓢トス

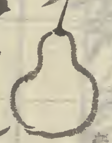
二十年[illegible]月[illegible] 田井[illegible]

水谷仲右衛門 瓢ハ近江ヨリ伝ヒニ 三河野田邨ヨリ

多レトス 二川[illegible]ヨリ[illegible] 大中ノ二種有

杓瓢年ト 百[illegible]手生ト フクヘ ナガフクヘ 外、

フクベ上ケ[illegible]ノ



アリトテフ 夫ノめし

大(ウメ)ニ[illegible]ハ[illegible] 中(ウメン) フクヘ

石ナリ(ヒウメン)[illegible] 〇 ヒこナク(ウメン)ニ

大(ウメ)ニ多[illegible]ヲ[illegible] [illegible]ハ八種アリ [illegible]

[illegible]之長[illegible] 油[illegible]ヲ用ヒ 肥ハ人糞ヲ用ヒ[illegible]

嘴[illegible]ニ[illegible]ヲ用ヒ 乾[illegible]

又乾瓢[illegible]ヲ用ヒ[illegible]トスヿ

このほど 播州 海稲(?)
傳承 長船等ニテ 書キ(?)
平 蔵ハ 我 取ノ 手ニテ
願ん 大ハナル 手ノ 二 ワ 書 付
切口 至して 御座候
三月 廿二日
秋 彦(?) 謹

ノ沿圏ノ至シ且
ナリ 目ナリ
ノ故ニ為ヲ蔵メ
ノ田ヲ前傳ヘ
也ノ二本ヲ切リ
活ハシム 殊ニ大
良品ヲ得ナバ
最多シ 然レトモ
三ヶ村ノ二村

大日本農會

此節運上ニ諸州手稲ノ辺 乾鮑ヲ製
スル了文 乾場ハ 三尺ヨリ 高ク上ゲテ 一日ニ
乾ス 長サ 地ヲ 掲入 但シ 表又ノ 手 一日ニ 乾セ
ゲザレバ 色悪シトスル 此ニ ハ 形丸シトスル
皆之 郡久井郡ニテ 舟ヲ 浜ニ 淫人ヲ 待ツ也
五十 高サ 上ゲ 乾スニ 但ヨリ 獨等人ノ
アメリカ 乾ヲ 一般 空気 通暢ノ 為ニ 製テ
ハ 風 摂 理アリ 云々
二十年 十月 十日

田中穀

ユウゴ

湿気ノ少キモノ
ニアラザレバ上ニテ
モ思ワリハミラス
沢ニモノ多シ
大ナルハ一丈ヨリ
一丈余ノモノハ[illegible]

[illegible]ノ辺 乾燥ヲ要
[illegible] 畠ノ上ニテ 一方ニ
[illegible]ノ方 一日ニ乾ク
[illegible] 形丸ニトモ[illegible]
[illegible] 匠人ヲ待ツ[illegible]
[illegible] 独立家人ノ
空気通暢ノ事ニ[illegible]

川田村八日 [illegible] 上手ノ南蒲[illegible]
径二尺[illegible] 甚 [illegible]
[illegible]モノナリ

福田[illegible]曰 [illegible]ノ村辺[illegible] 丸[illegible] [illegible]
[illegible] 長ク[illegible] 半内ニ[illegible]
夫人[illegible] 到底早ノ浅[illegible]
二千年[illegible]

西義照曰 [illegible]年七月[illegible]
[illegible] 西ノ[illegible]
長[illegible] [illegible]

上ニテ 播磨郡ノ諸村ニ於テ作ル 最多シ[illegible]
[illegible]良西ト称スル[illegible] 飾西郡 [illegible]村 [illegible]村ノ二村
[illegible]ノ[illegible] 故ニ[illegible]
[illegible]ノ二本ヲ[illegible]
良品ヲ得[illegible]
[illegible] 大

ニ總目錄一冊
以呂波引一冊定價三拾錢
鹹、蔬、穀、蟲、魚、介、禽、獸、人、
て上ハ六國史を初しめ歷

川田村八日 [illegible] 上手ノ [illegible]
経二尺ほ三丁人モアリ [illegible] 長苗ヲ三束 [illegible]
ナルモノナリ

[illegible]

参河ハ [illegible] ヲ作ル人ニ長ジ 性テ [illegible] 郡多ク沼園ニ [illegible]
[illegible] ハ [illegible] 大 [illegible] 手ナリ 百ナリ
ニシテ 多ク結ハ [illegible] 實ノ苦ヲ得ガタシ 故ニ [illegible]
良品ヲ結ハシム 苗三本ヲ [illegible] 拘 [illegible] ノ [illegible] ヲ [illegible]
合ステ一本トナシ 後ニハ [illegible] 二本トシ [illegible] ノ二本ヲ切リ
去リ一本ノミヲ長ゼシメテ 實ヲ結ハシム 殊ニ大
[illegible] ノ [illegible] ハ 一個ノ外ヲ結ハシメテ 良品ヲ得ルカ
[illegible] 郡ノ諸村ニ於テ作ル [illegible] 最多シ 然レトモ
[illegible] 良品ト称スルハ [illegible] 田郡 [illegible] 村 [illegible] 村 ノ二村

田中 [illegible]

ユウゴ

[illegible] ノ [illegible]
[illegible] 思ヘリ ハ [illegible]
[illegible] ハ [illegible] ノ [illegible]
大ケハ一 [illegible]
一 [illegible] ハ [illegible] 當リカ [illegible]

[illegible] 乾 [illegible] ヲ製
[illegible] 上ゲテ一日ニ
[illegible] ノ [illegible] 一日ニ乾 [illegible]
[illegible] ハ形丸シ [illegible]
[illegible] 人ヲ待タセ
[illegible] 獨 [illegible] 人ノ
空気通暢ノ [illegible]

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

故紀藩畔田翠山源伴存先生撰

○古名錄　全部八十五巻合本四十三冊外ニ總目錄一冊 内第十八冊迄既發刊　以呂波引一冊定價三拾錢

右ハ水、鹵石、火、金、玉、石、土、彩色、草、木、竹、菜、果、蓏、蕈、穀、蟲、魚、介、禽、獸、人、鬼神、飲食の二十四部に大別し毎部細目を設けて上は六國史を初しめ歷

ニテ此拙手作スルモノハ堅実ニテ持ニ軽クシテ甚タ美ナリ
價モ亦甚タ廉ニ二三四ノ器ヲ携ヘテ信州地方ヲ巡廻スルニ
何レモ多ク残ラス賣捌キテ帰レリト云フ 此春尾参
両国ノ人集リ瓢箪會ヲ為シタルニ此ヲ出シタルカ
甚タ美ナリ 此器ヲ見テ美ナル者良工ノ者ナリト賞シタリ
ト云フ　　右老所説ノ不同然

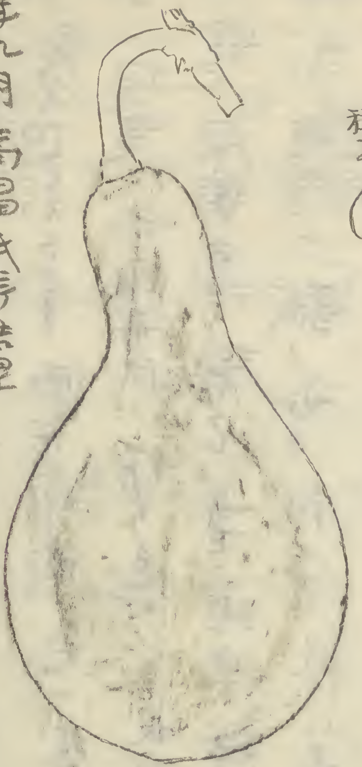
扁蒲ハ田扁ノ者ヲ作リ乾瓢ヲ作ルニ多カラス 否
秘太閤ノ瓢箪ノ如キハ泥地ノ産ナリ 思フニ作ルノ力少シ
入リテ遂ニ至ルノミ 此畫ヲ用ル人 今之ヲ了ハセ
明治二十年四月二十日　田芳記

校正之補 此后ニ西ノ長ニ尺ヨリ長五尺ニ至リ 二十年六月

カザリヘウタン
装飾葫蘆

グールド オルナメント
Gourd ornament

種子



十二年九月 高畠氏ニテ結果

天産課園藝

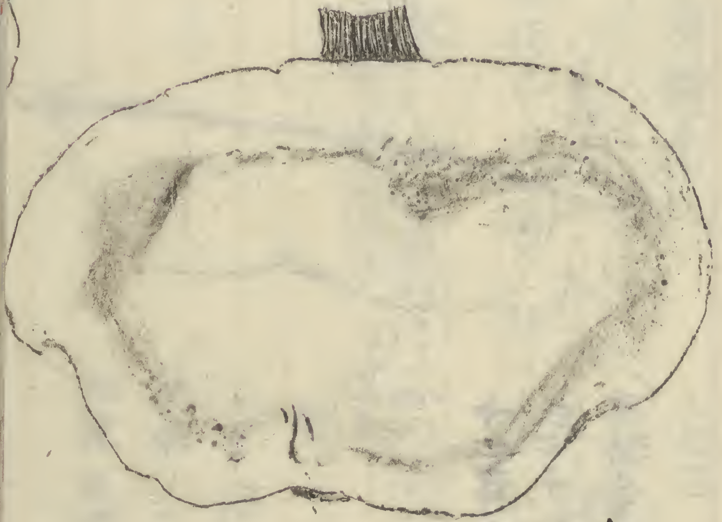
純黄白色ニアリ
黄白色ニ淡緑ノ斑アリ
又ハケウリノ如キ縦條斑
斑ノ点アリ

[illegible]

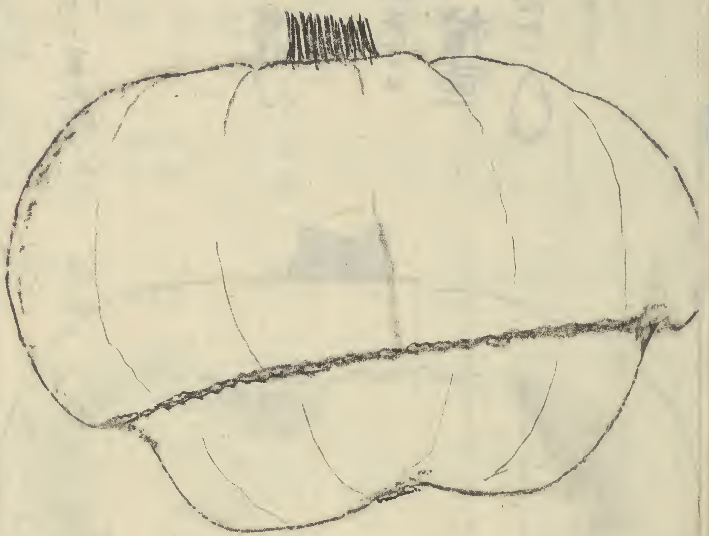
此果ハ葫芦ノ類ニテモ 千ナリ百ナリノ方ト見ヘテ
甚タ食スヘカラストイヘ 而シテ外面ノ色ハ甚タ一様
ナラズ 一瓣毎ニ朱的斑紋ノ作リタルモノヲ見ル小ク
ニテ頭ニ深黄色ヲ環ラシ 上下ノ斑條鮮美ナレモ
又十分熟セルハ 瓢ノ如ク乾スベシ 但シ美色ハ褪
失セリ

東京大学総合図書館

土瓦烏帽ト名ル所ノ
南瓜
蕃臍司ノ長サ
持蔕モ根ヨリ生ス
外皮朱紅色ニシテ
瓜ノ肉ハ橙黄
色 種子白色 ○
如斯ノ大サナリ



[illegible]



此果上部大ニシテ下部小ク其間ニ偏ノ如キ段アリテ上下ヲ境ス

十三年九月十三日

三田ニテ第二回果物品評會育種場ノ出品

田芳

洋種南瓜

「スユウペリヲル、クルツク、子ツキ、ウヰンター」(Superior crook neck winter)ハ米國種ニシテ瓠甚タ長ク頸ニ至テ狹ク彎曲形ニシテ淡褐色ナリ貯蔵スレハ極メテ久シキニ耐エ冬食ニ供スルニ宜シ

「カスシヤウ」(Cashaws)ハ米國種ナリ瓠形前種ニ似テ頸、彎曲セス色モ相同シ肉質緻密黄色ニシテ甘美ナリ

農商務省

黄蜀葵ノ…

二十年八月一日

琲紋維作ナリ [illegible]ニテ南ハ肉部 [illegible]

[illegible] 出[illegible] [illegible]

二十三年十月 [illegible]

田[illegible]芳男

寺[illegible]

農商務省

札幌地方ニテ培養之西洋種南瓜

形 如此外面皺多ク皮硬ク シテ食フヘカラス

肉ハ密ニシテ甘美ナリ

ポワパート ト称ス 按スルニ Hubbard Squash

ナルヘシ ホツバード ト誤ルナラン

農商務省

受信人轉居
本郷 金助町　丁目　番地
ちりませず
ここ于配達人
[illegible]

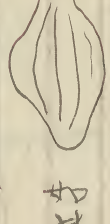
南瓜ノ巻鬚地ニ入リ
テ根ト変ジ
二十年八月十日

[illegible]

寺村 [illegible]

札幌地方ニテ培養スル西洋種南瓜

形



如此外面ニ皺多ク皮硬クシテ食フベカラズ

肉ハ密ニシテ甘美ナリ

ポワパート ト称ス 按スルニ Hubbard squash

ナルベシ ホッバード ト謂フベシ

煖地方ニテ培養スル西洋種南瓜

如此外面皺多ク皮硬ク

ニテ食フベカラス

蒸シテ甘美ナリ

ポツパート ト称ス 按ズルニ Hubbard squash

ホツバード ト謂ベシ

東京大学総合図書館

便此方ニテ培養シ 米国産

如此外面ニ皺多ク

ニテ今

寒ニシテ甘美ナリ

ポパート ト称ス 抵ニ Hubbard

ホッバード ト濁ンゴ

蕃水瓜 卽蕃食西瓜

者按隅ニ仰モ子ノ蕃水瓜ノ傳タリ大サ径寸許蕃國ノ西瓜
ニ比スレハ一重量アリ 形ハ圓ニシテ皮色ハ深緑色ト白色ノ
斑紋縦條アリ ニテ割レハ内部瓤共ニ白色ニシテ西瓜ノ
香アリ 微ク甘味ナシ 生食ニ堪ヘス 又瓤モ堅ク硬ニシテ番薯
品ノ如クナラス 種子ハ淺黄褐色ナリ 因テ蕃食セズ恰モ瓠
ノ如クシテ品位殊異味上等ナリ 是亦一種ノ蔬菜ニシテ
瓠瓜普ト同種ノ者ナリ 而シテ冬瓜ニ比スレハ品位遙
又蕃瓜種類ナレハ 取ヘテ来ル二月ニ蒔クヘシト云フ

二十三年十月上旬

田芳記

初

西瓜ハ Pine apple water melon

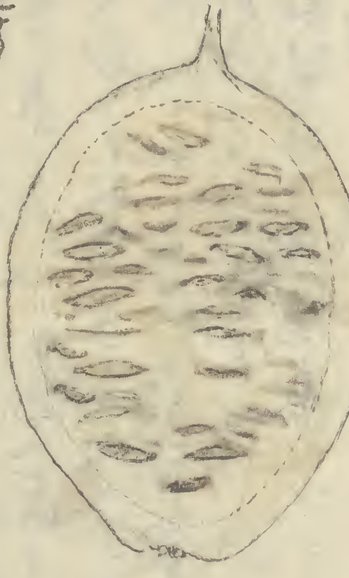
栝樓[illegible]

外皮深緑
肉皮黄白
瓤鮮黄
色核ハ
暗褐色
ニメ仁ハ白色ナリ
皮ト瓤ト離レ易ク切レハ皮縮テ瓤ヲ離ル 腥臭アル了ハ
南瓜等ヨリ甚シ

キカラスウリ
栝樓実

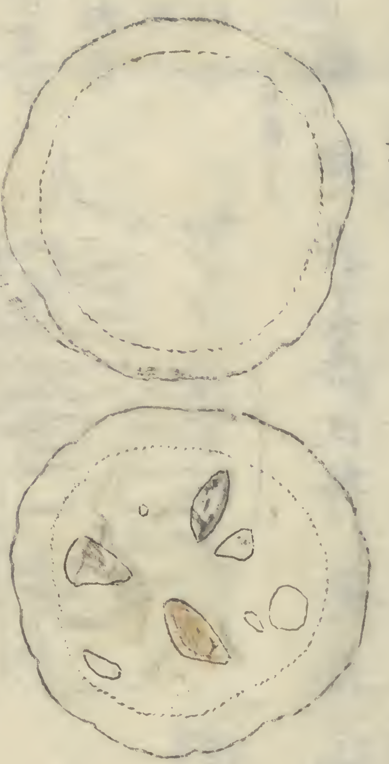
十六年十月赤坂人来ル（居宅へ）十一月九日切割ス
故ニ大ニ萎縮ス

此品ノ量
二十三戔



外皮深緑
内皮黄白
瓤鮮黄
色核ハ
暗褐色
ニシテ仁ハ白色ナリ
皮ト瓤ト離レ易ク切レバ皮縮テ瓤ヲ離レ　腥臭ナシハ
南瓜等ヨリ甚シ

横截ノ面



此面ニ形スハ狭ノ実ヲ示ス

是ハ瓤ヲ去ルモノ

是ハ瓤アルモノ

煮食スルニ瓤ハ稍南瓜瓤ノ如ク皮ハ苦瓜ノ如ク苦シ
又漬物トスルモ苦味アレド又雅味ナリ

田中芳男記

カラスウリ [illegible]

[illegible]年

[illegible]

[illegible]

東京[illegible]製紙會社

東京大学総合図書館

ヿ識シらるゝ 燃ん可使ヿ
セル紙シ 竹輪籠紙 和身ハ甲ニれ
余ヿ此紗ニハ中ナルヿ乃外味ヘ別ニ公
是ハ（沖キス）ト云フ（エソ）ト呼ん魚ノミニ
路ニスルナリ 用法ハ田舎ヨリ輸出ニシテ
省中ヨリ弘テ四月ヨリ五月頃ヨリ
四地ニシテ党常ニ多ク相紗ナル
そのー 百
田中先生 御前

此ハ雑書ニ題シテ備ヘ茄ヲ
色ニ分テ二種アリ 第一白色
黄ヲ支那種ナリ 是ヲ先ヅ園
使ヨリ種子ヲ買ヒ最初ヲ畑形ニ
大ナルヲ餅ニ植鉢ノ上ニ油ヲ囲
無鉢ノ茄園強シ外ニ茶紫ヲ
大ニ食用ニ適ス 是ヲ先ツ今ニ作
中ハ第二下種色ヲ帯ル黄ヲ又ニ
是ヲ下ト 初テ植鉢ニハ是
茄園栗紫色ニ食用ニ適スル従

大日本農會岩手支會報告第二号（明治十八年六月十五日）拔萃

○茄子ノ立枯豫防法

福井縣南條今立郡長松本晩翠氏ハ數年来種々実験ノ上遂ニ左ノ豫防法ヲ発見セラレシト云フ

播種前二日間程塩水ニ浸シ灰ニ混シ好キ土ニテ苗床ヲ拵ヘ播種スベシ○移植スル畑ハ能ク耕シ其移植スル所ハ小穴ヲ穿チ之ニ塩ト硫黄トヲ交セタルモノニ小量ノ水ヲ注キ二日間程置キテ後移植スヘシ但シ塩ト硫黄トノ分量ハ塩壱升ニ硫黄壱合位ニテ宜シ○移植シタル後根本ヘ澤山灰ヲ掛ケ置キ夫ヨリ苗ノ根付キ肥目ノ少シ見エル比石油壱升ニ硫黄壱合位ノ割ニテ少シ根ヲ隔テヽ注クヘシ○又焼土ニテ培養セハ殊ニ宜シ

大日本農会岐阜支会報告第二十二号（明治十八年八月廿五日）拔萃

○農事叢録

會員　小笠原利孝

茄子苗ヲ植ルニ植テ十四五日目ニ薄キ水肥ヲ掛ケ夫ヨリ十日モ過キテ灰肥ニ油粕ヲ入レタルモノヲ多ク用ヒ其次ニハ三十日モ過キテ馬屋肥、灰肥等ヲ多ク用ユベシ斯クナセバ多分ニ実ヲ生スルナリ（農業自得）

茄子苗ヲ移シ植タル後大雨アレバ葉ノ裏ニ土ツキテ痛ムユヘ早ク水ニテ洗フヘシ又苗ノ根着タル後ニ硫黄ノ粉ヲ豆木ド其根ノ脇ニ入ルヽ時ハ一層功アルモノトス（農学路志留辺）

茄子を植る法　六月三日　[illegible]新聞　第五号

茄子を植るに旧地を嫌ふこと凡十年誤て旧地へ植ると初は花開き實を結はんとする時必ず枯る依て客土（ヤトヒ）などすれとも豆しかられ手数も又多し往時に石橋氏に請て同圃にて昨年茄子を植し所の土を分拆す

不植土

○燐分小　○鉄分大の中　○石灰分大　○珪石分大
○木炭分中　○苦土分中　○礬土分中　○硫分小、○
加里分中の小

植土

余は皆減せず同しくして○燐分小の小○木炭分小の小
加里分小なりと思ふに茄子の性灰汁強し自然木炭分を吸
減らすなるべし之に依て消炭を薬研にて粗末にあし茄

猩

蕎子ハ麦作ノ間ニ作ルヲ善トス
ト十月内ニ至ル頃ヲ蕎子ヲ作ル又之ニハ
麦ノ畦ヲ廣クシテ之ヲ間ニ植ユル時ハ既
ル時ニ肥大生長スト既ニ其翌年ハ其麦
畦ヲ耕シテ蕎子ヲ植ルモ其能ク生長ス
キ否ヤ必スシモ地ヲ擇サル植ナ久能ク見ル
事アリ
蕎子ヲ為代ニ植ル下竹尾[illegible]
阪田ニテ圃地ヲ[illegible]
是ハ十[illegible]

子一本植る所の土へ粉炭五合混合せ植試みしが枯るゝ
ことなく栄れ実れり大内村設楽茂平処をやく竈の下
の粉炭をとり植土に混合せて植しがこれもよく栄実り
て寒冷に堪へたりしと言ふ此は圃地多くなくば必ず畑地
へ植べきにあらざれども圃地乏しく且近傍へ植て
便利ならしめん為に記す

子一本植る所の土へ粉炭五合混合せ植試み一ヵ枯る多く
をうくよく栄れ実れり大内村設楽茂平兄をやく竈の下
の粉 [illegible] 家実り
て実 [illegible] 必旧地
へ植 [illegible] へ植て
便利 [illegible]

粉ヲ二乙ヘ [illegible]
也し

茄子ハ地ヲ擇ンリ [illegible]
[illegible]
茄子ヲ作ルニ [illegible]
[illegible]
崇ト [illegible] 未詳

狸々茄
外皮澁
是ハ十土

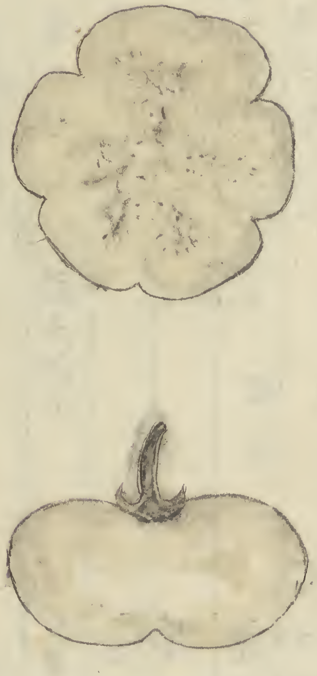
[illegible]
一本ニ茄子ヲ作ルニハ炭ヲ入ヘ
トノコトナリ
又炭ト硫黄ヲ
用セテ置ヒトミフ又九 [illegible] 地
ミノ硫黄気 [illegible]
平地ニ作ルニハ [illegible]
[illegible] 硫黄ヲ入ヘシ
主 [illegible]

安心ハ [illegible] 又 [illegible] 厚モヨキナルベシ

狸々茄

外皮深赤色朱塗ノ如シ　蔕堅ク　種子堅シ

十四年　十三年九月十七



是ハ十四年ニ古種ヲ植ヘ其ノモノナリ

子一本植る

をよく[illegible]

の数[illegible]

て実[illegible]

へ植[illegible]

便利[illegible]

[illegible]

高畠眉山氏ヨリ来ル蔬菜目録

グールジー、オルナメント　装観葫蘆　三個

支那種長茄子　三個

シカルレツト、エグプラント　猩々茄　弐個

黒金巾大茄子　弐個

支那種大茄子　弐個

緑金巾茄子　糸　綿長茄子　弐蓮個

玉子茄子　弐個

晩茄子　三個

早茄子駒込村辺ノ種深川辺ノ種ト異ナリ　五個

サンゴ杉ヰ茄子　大形　五個

〆十種

十二年九月三日

支那種大茄子　紅

シカルレット、エグプラント

支那種長茄子　三

番茄塩漬

番茄ノ強國ニ腿ヒ色 緑色ノモノハ我国ニ多ク見ル
ヲ含ムノ法ナリ 総テ廃棄ニ属スルニ 今此時此ノ甲
糖味甲賣トナス 宜シカラス 又煮食モ五合足キナノナリシ
後藤遠三君 甚ニ一ノ方法ヲ考ヘ之ヲ塩漬壓榨シ
久シク之ノ本ヲ底ニ入レ 形扁平ニシテ恰モ銭ノ如クシテ
同ケレハ之ヲ切リテ含スルニ 茄ノ塩藏ニ似テ下等ナル良哥
合ヘザルホトノモノニ非ズ 故ラニ之ヲ敗物トスルハ惜シキコト
ナリ

十九年五月三日　田芳

附 後藤君ノ書面ニ慶トアルハ下總穀倉慶ニ行ハル子ノ塩壓
大根ノ塩押ハ慶氏ノ法切干ノト同ニナリ 其味ニ差アルハ
産地ニヨリテ大根ノ味ニ良否アルベシ

サンゴむ丸茄子 大形 五個

〆十種

十二年九月三日

支那種大茄子

ナ三

番茄塩蔵

番茄ノ強蘭ニ腰ヒ色緑色ノモノハ秋季周囲ニ多クアレハ
之ヲ食スノ法ナリ 縦テ廃棄ニ属スルニ分切塩ヲ以テ
糖味ヲ帯ヒトナス 固クシテ又煮食スニ合セテモ大ノナラス
後再遂三日並ニ一ノ方法ヲ示ス 之ヲ塩漬壓搾シ
久シ之ノ本ヨリ浅ク入レ 形扁平ニシテ恰モ銭ノ如クシ
囲ケレバ之ヲ切リテ食スレバ 茄ノ塩壓ニ似テ下等ナレ共
食ヘザルホドノモノニ非ス 然ラハ之ヲ敗物トスルハ惜シキコト
ナリ

十九年五月三日 田芳

附 魯西亜ノ書ニ塩ト云テ下総我孫子ニ行ハルル子ノ塩壓
大根ノ塩漬物ハ 魯西ノ法切干ト同物ナリ 其味ニ差アルハ
産地ニヨリテ大根ノ味ニ良悪アルノミ

サンゴ形丹茄子　大形　五個

〆十種

十二年九月三日

シカレイ

支那種長茄子三

加子　紙

番茄塩漬

番茄ノ強國ニ賤とヲ　緑色ノモノハ歐米國間ニ多クアレハ
之ヲ食スノ法ナリ　従テ廉價ニ屬スレハ各地皆然リ固ヨリ
鹹味ヲ要スル所ナキモ宜カラネ　又煮食又ハ生食セテ宜キモノナリシ
後處遂ニ三色ヲ選ミ一ノ方法ヲ考ヘ之ヲ塩漬壓搾シ
久シク之ノ本ヲ試ムニ形扁平ニシテ恰モ錢ノ如クシテ
用ケレハ之ヲ切リテ食スルニ茄ノ塩壓ニ似テ下等ナル者ヨリ
食ヘサルホドノモノニ也　然ラハ之ヲ敗物トスルハ惜シキナリ
ナリ

十九年五月三日　田中芳

附　爲吾人ノ嘗テ廣ト云ヘ　下総銚子ニ行ハレテ塩壓
大根ノ塩押ハ　廣ク之ノ法ニ切テハ内ニアリ　其味ニ差アルハ
産地ニヨリテ大根ノ味ニ良否アルノミ

砂村菜園一覧ノ記

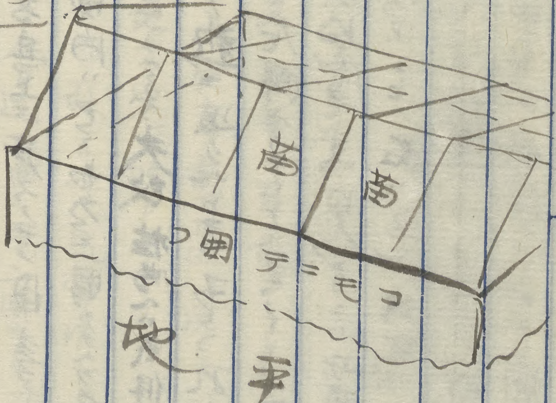
東京ノ蔬菜ヲ出スノ地ハ各所ニアリト雖モ 苗ヲ作リ蔬菜ヲ生スル 菜蔬ノ良好ナル事ハ砂村ヲ称ス 該村ノ景況ヲ見シトスル人モ 今ニ果サヽリシガ 本日 青木直亭（名ハ竹 草樹ト号ス）ト同車ニテ同村ヲ尋ヌ 道ハ本所ヨリ川通リヲ真直ニ行キ 招サル二ツ渡リ 川ノ南端ノ道ヲ行クナリ 即 砂村ニテ 前川ヨリ船ノ往来多シ 道ハ堤ノ如クナリ 人家ト畑ハ少シク低 砂村ト称スルハ 多ノ新田ヲ通称スルノ名ト見エ 堤ニ沿ヒ地ヨリ洲崎弁天ノ方迄ツヽク由 尋ネタル家ハ 南葛飾郡八右衛新田 九平ト云ヘル 地主 太田某氏 畑ニハ 少ク菜出来

薔薇芽等ニテノ薔薇葉ニ目下萌芽セシ双子葉ナクモ
若キ葉ヲ抜去ルノ如キヲ不用ナリ茎黄白ニテ直ニ腐敗ス
因テ之ハ疑ナリトス不定也トス
苗畑ハ胡瓜ト共ニ冬瓜ニモ又ハ其気候ヲ暖ニ宿ス
而シテ其二苗モ畜植ノ為ニ多クノ苗ヲ年作ナリトス
床ハ藁席ヲ以テ四囲ヲ欄ニ積ミ上ニ肥土ヲ載セ四辺ヲ席ニテ包ミ
其地ヨリ二尺以上ニ高クス其大サハ此地ニ出来シ程ナリ又十九町西ニ
上ニ藁席ヲ二重ニ覆フテ雪霜ヲ防キテ気抜ノ口ヲ作ルナリ
苗ハ一床ニ十ヶ許ヲ植ヘ又新床ヘ移ス今近田四田ニ二田モアリ
植テ其后ニ至テハ力ヲ以テ床ニ植替ヘナリ

紙識校

床ノ大サハ一間余ニ長サハ十間余アリ其床ヲ四ツ又二ツニ仕
切リテ四方ヲ芦ニテ囲ミ田ヒ名其上ニ芦ヌ簀ノ目ヲ用フ
風ヲ防キテ温暖ニス故ニ此田内ハ已ニ此処ニ暖カナル所ニ
天気ナレモ風アリテハ藁席ヲ去ヘカラズ大抵植替ハ気候ヲ
察シテ時々行ナリ又床ノ内ヲ熱ニ過タルハ害アリ為メニ
水ヲ注入シ冷ス事アリ如何ニモ左様ナラズトモナリ菜
ハ三年位モ同所ニ用ヒテ植ル也又同ノ方ニ此田モ
幸博ヲ個アリ瓜苗ニ万以上ニテノ苗ハ多シ此近所ニモ
此床場ノ田甚タ是ハ多シ皆同業ナリトス又暖気
ニナレハ此床中ニテ瓜ヲ結果セシメ此ノ如ニナラサレハ周田

きレノまヒトミフ
胡瓜苗ハ三葉ヲ生スナリ
蒔畫ヲ　床ノ形
下設ハ空ク日ニ　九段
ノ事有テ　而シテ栽
周蒔ス　ノ廓ヲ去
堅中ラ　足ヲ干ス
苗ハ近井ノ培土ニ為下公同寛延ナリ
明治十八年四月十四日　写　田井清九



東京大学総合図書館